

# 茜会の新たな取り組み



本年 1 月に有料老人ホーム「吾亦紅」が開所し、約半年が経過しました。新体制のもと、更なるサービス向上のため、各部所それぞれ新たな活動や目標に向かって動き出しております。そこで、今回は各部門の長より、現状の活動について報告してもらいましたのでご紹介させていただきます。

## 病棟



現在病棟には、七床の亜急性期病床があります。亜急性期病床とは、一般病床に比べ長期間（三ヶ月限度）の入院が可能で、その間リハビリなどによる機能の回復や病状の安定などを図り、よりスムーズな在宅復帰をお手伝い致します。

今後はその亜急性期病床を有効に利用し、必要な患者さんに十分なリハビリや看護を行い、一人でも多くの方が在宅に退院出来るように援助していきたいと考えています。

## 老健



日々、在宅介護に尽力されているご家族の方

に対し、ショートステイ（短期入所療養介護）や一ヶ月間の入所を積極的に受け入れることで、その身体的ご負担を少しでも軽減できるように

にしたいと思っております。

また、特に認知症で徘徊、暴力など重度の行動障害、身体障害をもつ方のご家族には、身体的な負担の軽減は勿論のこと、精神的サポートも必要であると思われ、ほんの些細なことでも気軽にご相談頂ければと考えております。

## 吾亦紅



吾亦紅の現在の入居率は六十%で、男性半分女性半分の珍しい男女比構成となっております。

また短期入居も可能で、その場合敷金が不要で必要な期間だけ、気ままに暮らしていただけるようになっていきます。すでに冬季だけ入居を楽しまれ四月に退居された方が五名おられますので、ぜひ皆様も一度気軽にご利用して頂きたいと思えます。

## 栄養部



食事量が不足して低栄養が起こっていないかを個人ごとに判定し、対応することで状態の改善に貢献できるように患者様との関わりを深く持つていきます。また、老健施設

設においては、栄養面だけでなく、「料理教室」などを通して、作る楽しみを取り戻してもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。

## リハビリ



病院リハビリにおいては亜急性期病床でのリハビリの充実を図り、看護師との連携を強化して早期の在宅復帰の支援を行いたいと考えています。老健リハビリにおいては、在宅復帰率の向上のため、看・介護職と協力して老健全体でのリハビリを考えていきたいと思えます。

また今後は、日々の業務の成果を随時研究発表できるように、スタッフ一同自己研鑽に努めていきたいと思っております。

## 薬局



医療過誤の防止のため、飲み薬を引き出しごとに

に収納する予約カートや、一日分の注射剤をまとめて払い出す注射カート等を当院では使用しています。その結果、今では薬の適正使用のチェックや投薬管理等が個人ごとにシステム化され確実に

ようになっております。

## あかねの里



現在グループホームでは入居とは別に、認知

症対応型デイサービスの提供も行っております。今のところ利用されている方は数名に留まっておりますが今後、積極的にご利用を勧め、在宅の方に対する認知症ケアにも取り組んで行きたいと思っております。また、その事が現在入居されている方に対して、外部との交流機会が増え、結果として今まで以上に張りあいのある生活を送って頂けると考えています。

## 外来



本来の外来部門の業務以外に、グループホームやデイケア、訪問

看護、そして吾亦紅の看護業務の管理が加わりました。今後は、外来ナース全員が利用者の病状を把握し対応できるように、定期的なミーティングなどを通して情報を共有化していきたいと思えます。

